

台湾 淡江大学

交換留学体験談

2008年2月～2009年1月



私は、学部1年生が終わってからすぐに、1年間台湾に留学しました。台湾の淡江大学を選んだ理由は2つあります。1つめは、1年生の夏休みに4週間の体験留学をしたあと、中国語をもっと勉強したいと思ったからです。もう1つは、淡江大学にはマスコミュニケーション学科という、電通大の人間コミュニケーションに似た学科があったからです。淡江大学のマスコミュニケーション学科では、学内で放送するテレビ番組やラジオを学生だけで製作するなど、学生が主体となって活動するスクールカラーに興味を持ちました。

私立淡江大学(たんこうだいがく、淡江大學、Tam Kang University)は、台北県淡水鎮にある台湾の私立総合大学。現在全11学部、博士課17研究科、修士課程50研究科、在職修士課程18研究科、47学科および2年制在職学士課程3学科を有し、学生総数26143名、教職員総数2186名(非常勤を含む)。キャンパス面積は、淡水、台北、蘭陽の3キャンパスを併せ61万1118平方メートルに及ぶ。

今回の体験談では、学業、サークル活動、寮の生活、課外活動、旅行、友達の6項目に分けて、私の台湾での留学体験をご紹介します。



大学構内でリスを発見



体育館



食堂『美食空間』



10階まである図書館



学生街



旧校舎



イルカが目印

1.学業



中国語の会話の授業



中国語のクラスで昼食



発表の様子



中国語の授業で陽明山へ



『台湾文化』の先生



『台湾文化』のクラスメート



マスコミ学科の
『広告学』黄振家先生



ラジオの様子



創立から使われている教室



マスコミ学科のスタジオ

中国語の勉強をする授業は前期、後期ともに、毎日あり、毎週テストもありました。テスト内容は、その週に教科書で学んだ単語や発音、リスニングなどでした。ときどき、先生が「youtube.com」の動画を流して台湾の文化を紹介してくださったり、台湾の年間行事や祝日の意味や歴史などを、説明してくださいました。これらの、バリエーションのある授業のおかげで、リラックスしながら授業を受けられる雰囲気のなか、肩の力を抜いて楽しく授業を受けることができました。

前期は中国語や中華文化を中心に勉強し、後期からマスコミュニケーション学科の授業を履修しました。特に、専門科目の中で履修したのは、広告学、戯劇概論、視覚コミュニケーションの3科目です。授業は、全て中国語で行われたのですが、先生や同じ授業を履修している友達(台湾やマレーシア、マニラの学生)に助けをいただき、なんとか単位を取得することができました。特に視覚コミュニケーションの授業は、事前にグループで予習するという形だったので、慣れるまでは大変でした。最初は、授業中にいきなり指されたりと恐かったのですが、後半は慣れてきたせいか、楽しく感じるようになりました。

2.サークル活動



白砂湾でサーフィン



海水浴



ラフティング



スキューバダイビング



In 緑島



夜明けの温泉



海辺でBBQ



空がきれいです



スキューバ後。。。

同じ授業を履修していた友達に誘われて、後期からは、水上活動のサークルに参加しました。活動内容は、サーフィン、スキューバダイビング、ラフティングなどです。9月と10月は、定期的に2週間に1度サーフィンに行きました。活動場所は、大学からバスで、30分程度のところにある白砂湾という海岸でした。9月には、台湾海峡に浮かぶ、離島の”澎湖”という場所でスキューバダイビングに行きました。また、10月には、台湾の東部に位置する”花蓮”という場所でラフティングをしました。サークルのメンバーは、とても明るく、すぐに仲良くなれ、参加して本当によかったです。

3.寮生活



クリスマス会



ロビーの様子



地下鉄の中で



台湾のケーキ



麗澤国際宿舎



イベントの夜ご飯



罰ゲーム



ボーリング大会



ロビーで朝ご飯

台湾では、学校の構内にある、留学生との交流に興味を持つ台湾人と混住型の、留学生寮に住んでいました。私のルームメイトは、英語学科の学生にも関わらず、私との関わり合いから、日本にとっても興味を持ってきて、日本語の授業を履修したりして、とてもうれしかったです。

留学生は、アメリカ、メキシコ、南アメリカ、フランス、ドイツ、オーストリア、イギリス、チェコ、ロシア、韓国などの様々な国からきており、また、各部屋に一人の現地の学生(台湾人)がチューターとしてついていたので、中国語を使う機会が多く、授業で習った単語や文法をすぐに使ってみたりすることができました。

部屋は3人部屋で、誕生日会や、月に一度、交流イベント等が開かれるなど、いろいろな国の学生と交流できました。毎月定例の交流イベントは、台湾の学生主催で、新学期の歓迎会から始まり、学外でのレクリエーション、ボーリング大会、カラオケ大会、演劇の大会、クリスマス会、カジノパーティ、送別会など、盛りだくさんの面白いイベントがありました。特に、印象に残っているのは、演劇の大会でした。私は、ルームメイトと『ちびまるこちゃん』のまるこちゃん役をやりましたが、ボイスレコーダーを使って、必死に台詞を暗記したのが大変で、課外のイベントとはいえ、準備にたくさん時間を費やしました。その成果があったためか、15組中4位になることができ、この上ない達成感を味わうことができました。

4.課外活動



12月台北マラソン



雨の中バスケ大会



バスケ大会準優勝



国際交流旅行 in 太魯閣



滝に向かって座禅



太魯閣で川遊



バスケの試合応援



11月太魯閣マラソンの前日



運動場で『蘇打綠』のライブ

私は、課外活動として、大学主催のバスケットボール大会やカラオケ大会、国際交流旅行に参加しました。カラオケ大会では『tsunami』の中国語版を歌い、学内2位になりました。

また、11月には、東部に太魯閣峡谷として、台湾を代表する、“太魯閣”という景勝地で12月には台北市内で、台湾政府主催の国際マラソンに、他の日本人やドイツ人の友人と参加し、完走しました。

海外の地でマラソンを完走できたことは、自分にとって大きな自信に繋がりました。また、走りながら、一緒に走っている選手と話したり、励まし合ったり、水をわけあったりと、とても貴重な経験をしたり、また、初めて参加した時に、一緒に走った現地のおじいさんが、2回目のマラソンのときでも覚えてくださっていて、人との触れ合いに感動しました。

5.旅行



台中 龍山寺



軍事施設



In 高雄



休憩中
。。。



新竹で花火



台中
の夜市



絞りたての牛乳 in 東海大学



阿里山の
日没



牛の放し飼い in 澎湖

今回の留学では、夏休みを利用して、2週間の台湾一周旅行をしました。初めての貧乏旅行でしたが、台湾らしさや日本との習慣の違いを発見できて、隣国の台湾と日本の相違について、改めて触れる機会となって、振り返ってみると思い深かったです。

旅行中はたくさんの人に助けられました。特に地方に行くと交通手段がなくなってしまうことが多く、旅行先では、田舎の牧場や農場、或いは、漁港の気のいい人たちに現地を案内してもらい、台湾の田舎の人たちの、温かい親切を受けたことが感動的でした。

6.友達



卒業写真の前撮り



怡方卒業



怡方の祖父母と一緒に



怡方のいとこ



怡方母がゲームに夢中



左から怡方、いとこ、弟

台湾滞在中は、最も大切な友達もできました。現地の友達の紹介で知り合った、怡方(イーファン)という友達とは、毎週、中国語と日本語をお互い教えあう「言語交換」を通じてとても仲良くなりました。彼女は知り合った時には、4年生だったので、一学期が終わった後に卒業してしまいましたが、その後電話やメッセージなどで連絡をし合い、休みがある度に、一緒に遊びに行きました。

また、彼女の家族の家にも、何度も遊びに行きました。彼女のお母さんの実家に遊びに行ったときには、彼女のおじいさん、おばあさんで、その昔に習得した日本語なのに、流暢に話してられたのに驚きました。

彼女の家遊びに行くことで、寮では体験できないような台湾の家庭の雰囲気を楽しむことができました。

謝辞

今回の台湾留学にあたっては、国際交流推進センターの鈴木雅久先生や郭艶娜さん、チュータ等の関係者をはじめ、学科や大学の諸先生方及び職員の皆様、そして、淡江大学の多くの皆様から温かいご支援やお世話を頂きました。また、家族には、留学を決断してから、この上なく精神面資金面で助けて頂きました。この場をお借りして、改めて深くお礼を申し上げます。